

# 会津地域における水稲乾田直播栽培の現地実証

福島県農業総合センター 会津地域研究所

## 1 部門名

普通作物－水稲－作型・栽培型

## 2 担当者名

笹川正樹、濱名健雄、佐藤弘一

## 3 要旨

積雪地帯である会津地域では、ほ場内の融雪水等の影響により播種時期のほ場条件が不安定なため、水稲乾田直播栽培には適さないとされてきた。

そこで、ほ場条件を安定化させるため、乾田直播直後に土壌を鎮圧するとともに、入水前の畑地性雑草の防除を徹底したところ、現地ほ場での収量は 50.4～58.6 kg/a 確保できた。

- (1) 播種時期は 4 月中～下旬、播種直後にローラー等で土壌鎮圧を行った（表 1、図 1）。
- (2) 日平均気温（アメダス若松、1981～2010 年の平年値）から算出した推定播種晩限期（5/26）に播種したほ場の収量は、精玄米重では 77.8kg/a であった（表 2）。

表 1 「天のつぶ」による現地試験ほ場の生育及び収量（2019～2020 年）

試験年度	試験場所	苗立数 (本/m <sup>2</sup> )	出穂期 (月/日)	収量 (kg/a)
2019	喜多方市	125	8/7	50.4
	会津坂下町南部	98	8/8	52.5
2020	喜多方市	101	8/13	56.0
	会津坂下町北部	86	8/9	55.1
	会津美里町	206	8/12	58.6



図 1 水稲乾田直播栽培ほ場  
※会津美里町（2020 年 9 月撮影）

- ※ 播種は 4/15～29 にドリルシーダまたはロータリーシーダーで行い、播種後に土壌鎮圧を実施。出芽期は 5 月中～下旬、畑地性雑草は「グリホサート剤」による除草を行った。
- ※※ ほ場の土壌分類は、喜多方市及び会津美里町が「礫質普通低地水田土」、会津坂下町南部が「細粒質普通灰色低地土」、会津坂下町北部が「典型普通多湿黒ボク土」。
- ※※※ 収量は聞き取り調査による実収量。

表 2 会津平坦地「天のつぶ」の推定播種晩限期における生育、収量及び品質（2020 年、会津地域研究所）

播種日 (月/日)	出芽日 (月/日)	苗立数 (本/m <sup>2</sup> )	出穂期 (月/日)	成熟期 (月/日)	精玄米重 (kg/a)	検査等級 (0～10)
5/26	6/6	186	8/16	9/28	77.8	2.0

- ※ 精玄米重は坪刈り収量（1.8mm 調製、水分 15%換算値）
- ※※ 検査等級は会津地区農産物検査協議会（JA 会津よつば）による 10 段階評価（1：1 上～9：3 下、10：規格外）

## 4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成 31 年～令和 2 年度
- (2) 研究課題名 会津地域における米の省力・低コスト技術および高品質米安定生産技術の確立  
積雪地帯における乾田直播栽培技術の確立〔福島県と J A グループによる福島県産農産物競争力強化共同事業〕（2019 年）、〔J A グループ福島寄附金〕（2020 年）

## 5 主な参考文献・資料 なし